



若者の県内 就職促進 × 魅力発信

久保園・宇都

概要

- ・現状
- ・課題と問題意識
- ・県内就職促進の必要性
- ・原因
- ・政策の内容
- ・期待される効果
- ・将来展望

現状

- ・2020年における鹿児島県から他都道府県への転出状況については、首都圏をはじめとした大都市への転出が多い。九州内では、福岡、宮崎、熊本への転出が多い。
- ・性別および年齢層別での推移状況は、男性においては、15~24歳までの転出が多く、その後転入超過傾向にある。女性においては15~24歳までの転出が多く、50代から60代にかけては転入超過傾向が見られるものの、男性と比較して転出超過傾向にある。
- ・県外就職を決めた理由として、高校生、大学生共に「福利厚生や働く環境が充実していないから」という理由が最も多い。

鹿児島県「かごしま未来創造ビジョン」

https://www.pref.kagoshima.jp/ac01/kensei/keikaku/vision/documents/new_vision.html

高校生の県内外就職率の推移〈県・全国〉

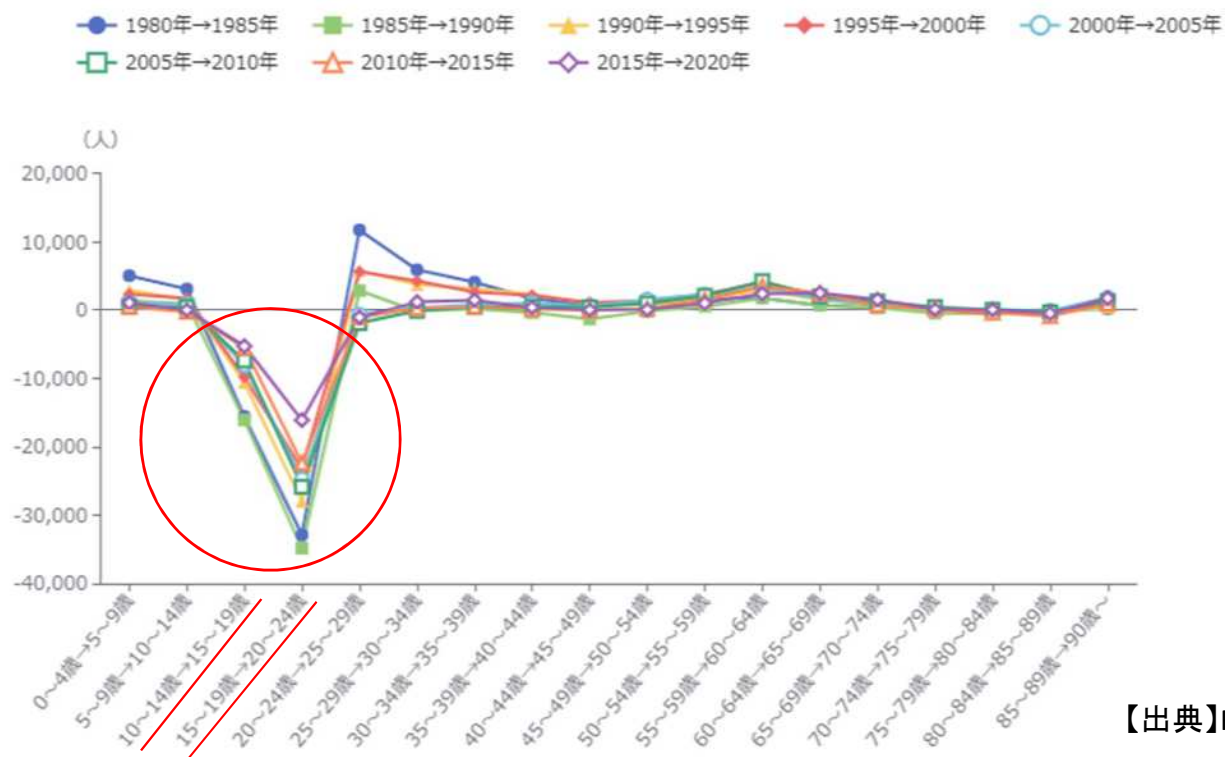


【出典】文部科学省「学校基本調査」

- ・各産業の将来を担う新規学卒者の県外流出が続いている。
- ・高校生の県内外就職率の推移を見ると全国と比較して県内就職率は低く、県外就職率は高くなっていることが分かる。
- ・2012年度から数値に大きな変化は見られない。

RESASによる分析①

年齢階級別純移動数の時系列分析
鹿児島県



・年齢別に人口の移動数を分析すると15歳～24歳が特に県外に移動していることが分かる。



・若者(15歳～24歳)を対象とした政策を考えていく

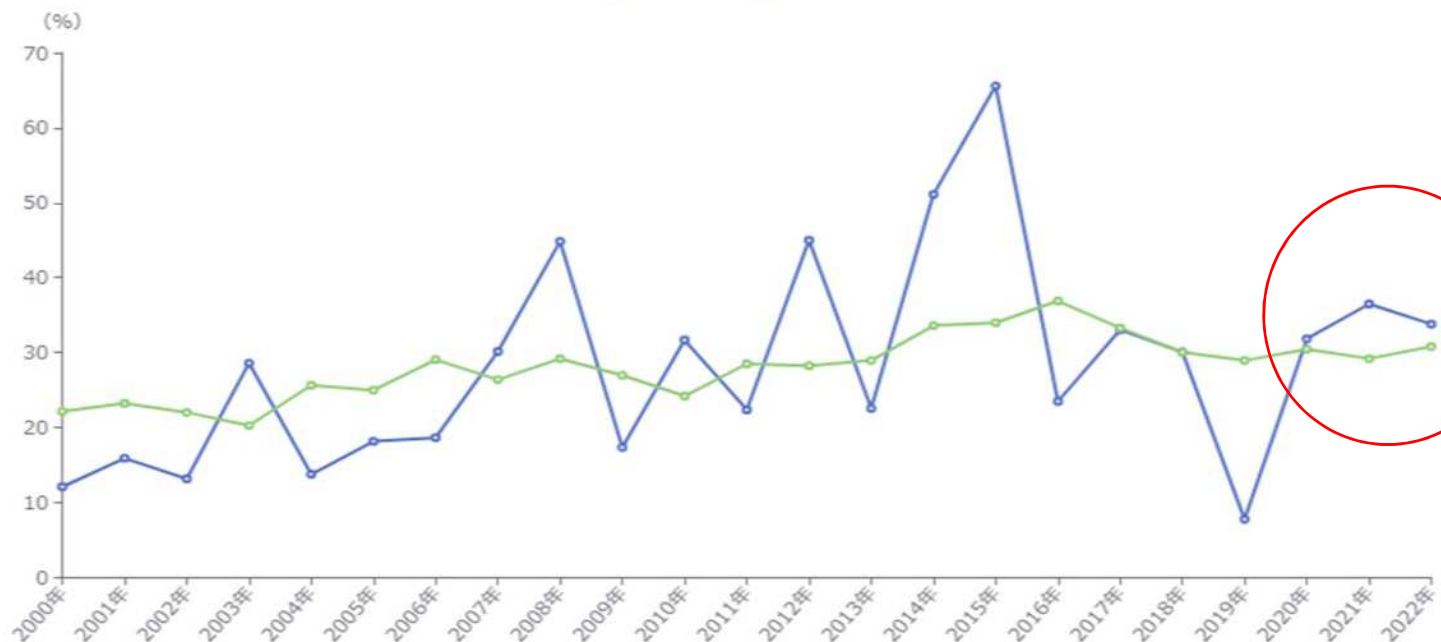
【出典】RESAS-人口の社会増減-

RESASによる分析②

就職者数（流出）の推移

鹿児島県
就職
総数

○ 鹿児島県 ○ 全国平均



就職者数（流出）
割合の推移

2022年

全国平均：30.8%

鹿児島県：33.77%

2021年

全国平均：29.17%

鹿児島県：36.46%

2020年

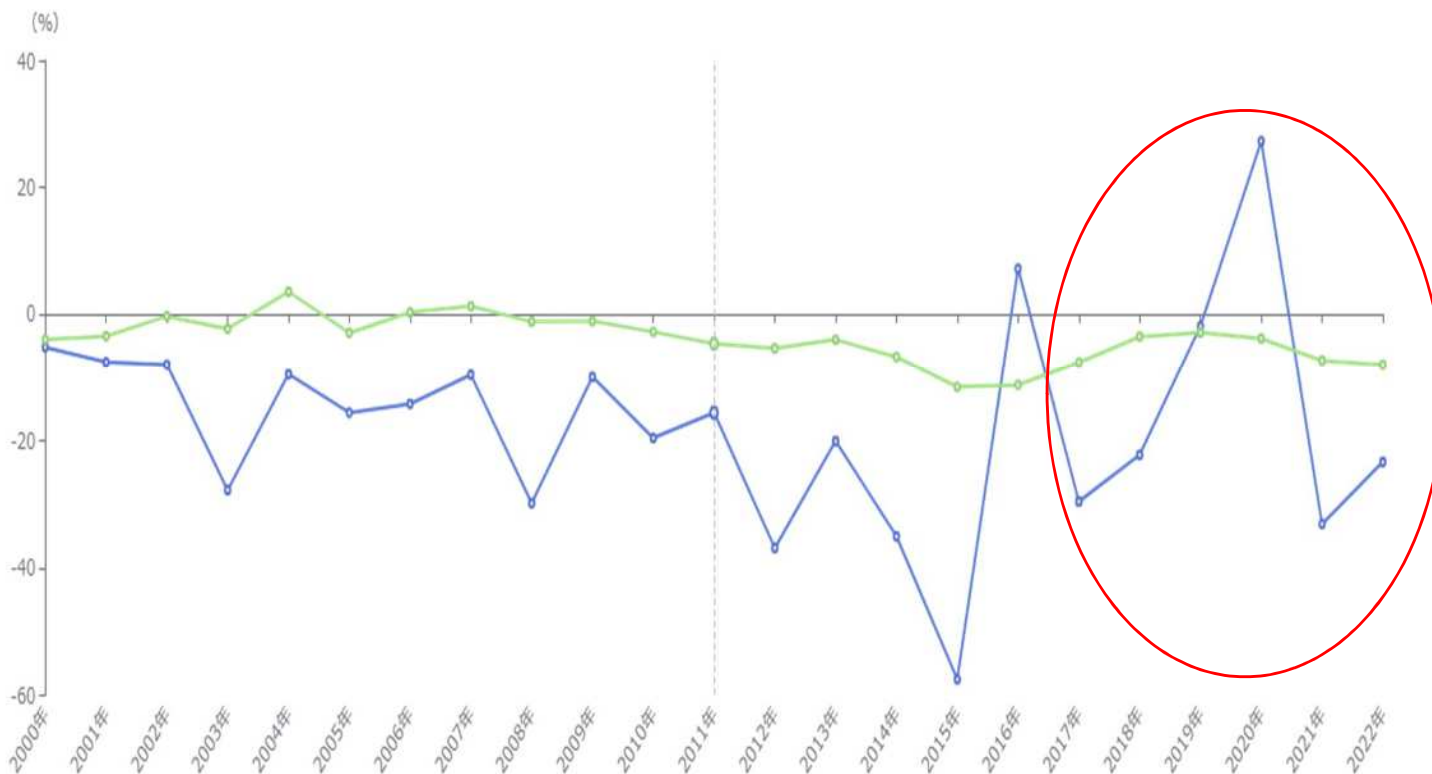
全国平均：30.43%

鹿児島県：31.82%

【出典】RESAS-新卒者就職・進学-

RESASによる分析③

○ 鹿児島県 ○ 全国平均



就職者数(純流入)
割合の推移

2022年

全国平均：－8.03%

鹿児島県：－23.38%

2021年

全国平均：－7.4%

鹿児島県：－33.15%

2020年

全国平均：－3.9%

鹿児島県：27.27%

【出典】 RESAS-新卒者就職・進学-

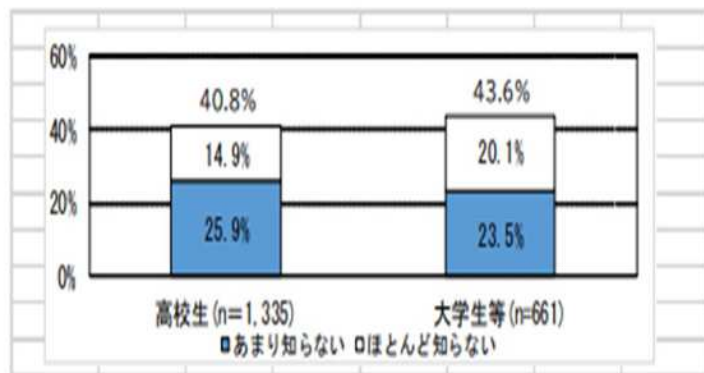
課題と問題意識

- ・県内企業の認知度不足
- ・地方と都市部での賃金や労働条件の格差
- ・県内就職やUターン促進の必要性
- ・県内企業や鹿児島県で働くことの魅力発信
- ・若者に対する就職支援の充実
- ・働き方に対する若者の意識の変化(柔軟な働き方、ワークライフバランスの重視)

県内就職促進の必要性

- ・若者の流出を防ぐことで、県内の人口減少を抑え、**若い労働力の確保**につながる。若者が地域に定住することで経済活動が活発になる。
- ・若い世代が地域で働き、生活することで地域の多様性が増す。また、新たなビジネスの創出にもつながり経済の活性化が図られる。
- ・県内での就職を促進することで、若者が将来的に地域のリーダーシップを担い、**持続可能な地域社会**を構築する基盤が整う。
- ・地域に愛着を持つ若者が増えることで、**地域の発展に寄与する人材**が確保される。

＜県内企業についてどのくらい知っていましたか。＞



＜県内企業情報はどのような方法で調べましたか（複数回答）。＞

	高校生	高校生の保護者	大学生等
1位	企業HP	高卒用求人票	企業HP
2位	高卒用求人票	企業HP	インターンシップ等
3位	先生・学校から	先生・学校から	民間の就活サイト
4位	インターンシップ等	知人から	進路指導室等から
5位	企業ガイドブック等	子のインターンシップ等	先輩・知人から

- ・高校生・大学生共に県内企業に対する認知度が低い
- ・約半数が知らない傾向にある
- ・情報を得る手段として高校生・大学生共に企業HPが1位
- ・大学生の2位にインターンシップが来ているが高校生になると4位に転落している



県内企業の認知度向上や情報発信に注力する

【出典】鹿児島県若年層等の県内定着に関する意識調査結果

原因

県内企業
の認知度
不足

就職に関
する情報
不足

県の魅力
発信
不足

鹿児島県は全国平均と比較しても魅力度が高い傾向にある

↓しかし...

そもそも県民が鹿児島県の魅力に気づいていない現状にあり、

それが1つの要因となり若者の県外流出が増加傾向にある

↓そこで

県内就職を促進させるために、若者の身近な存在であるSNSを活用することが

有効なのは？

政策の内容

目的

県内企業の認知度向上及び既存の魅力を若者に再確認させる

内容

県内企業について知る機会の創出。県内企業と行政が連携しSNSを活用し、県の魅力を発信する

対象者

若者(15歳～24歳)

SNSの活用法

①写真・動画投稿による企業の情報や鹿児島県の魅力発信

②県内就職促進を目的とした公式アカウントの開設

③YouTube等の広告を活用し県内企業の情報発信

#かごしまで働く私 キャンペーン

目的: 鹿児島県内で働く若者に鹿児島県や県内企業の魅力をSNSを活用して広く発信して、地域での就職に興味を持ってもらう。県内企業の認知度向上、地域の魅力の再発見、若者同士の共感や繋がりを生み出す。

対象: 県内企業で働いている若者、県内就職を考えている学生、U・Iターンを検討している若者、自治体、県内企業

期間: 年に数回(春の新生活、夏休み、年末の振り返り)

流れ: 1. Instagram、X(旧Twitter)、Facebookなどで「#かごしまで働く私」をつけて投稿
2. 投稿するものは写真や動画、エピソードなど自由
3. 他のユーザーから「いいね」やコメントをもらう

#(ハッシュタグ)活用の意義

①認知度の向上

#を使うことでキャンペーンに関する投稿を一括して集約することができる。参加者が他の参加者の投稿を簡単に閲覧でき、参加者以外にもキャンペーンを認知してもらえる。

②情報拡散効果

SNSの拡散効果を上手く活用することで鹿児島県内だけでなく他の都道府県の人に対してもキャンペーンの存在を知ってもらい、県の魅力について発見してもらえる。

③参加のしやすさ

#をつけて投稿するだけなので気軽にキャンペーンに参加できる。

④参加者が主役

行政や企業ではなくあくまでキャンペーンに参加した人が主役となり活動を盛り上げることで参加者同士につながりや交流が発生する。

キャンペーンのテーマ設定

↳各回で異なるテーマを設定し、若者の興味・関心を引く。投稿のバリエーションが広がり、県内企業や地域の多様な魅力を伝えられる。

具体的なテーマの例

・「お仕事紹介」

仕事内容や働いている環境・魅力、仕事をする上での楽しさややりがいを感じる時を紹介する。仕事の様子や環境を写真・動画を用いて投稿する。

・「かごしまの日常」

鹿児島で暮らすことの魅力を発信する。地域のイベントや行事、自然や文化、伝統を紹介する。

- ・「U・Iターンの理由」

他の地域から鹿児島に戻ってきた、または移住してきた人がなぜ地元や鹿児島で働くことを選択したのか、その理由や経緯を紹介する。

- ・「将来を考える」

高校生や大学生などまだ就職していない若者を対象に鹿児島でのキャリアや自身の将来について考え紹介する。自身のキャリアの計画を発信する。

キャンペーン参加の特典

- ・地域の魅力をプレゼント

各回の優秀投稿者に対して、地域の特産品や宿泊券、クーポンをプレゼントする。特産品の紹介も兼ねたPRとして地域の魅力を発信する。

- ・抽選で体験型プログラムを提供

キャンペーンに参加した投稿者の中から、抽選で地域の自然・文化を体験できるプログラムに招待する。県内企業と連携し企業に実際に行くことで様々なことを体験できるプログラムを提供する。

自治体と県内企業との連携

- ・地方自治体もキャンペーンに参加し、地元の観光地や特産品、自然・文化等の魅力を「#かごしまで働く私」と組み合わせて発信する。働く環境と生活環境を一体化させ鹿児島県の魅力を強調させる。
- ・県内企業と連携し多くの企業がキャンペーンに参加するように促す。企業の様子や働く環境を発信することで興味を持つ若者を増加させる。

期待される効果

県内企業の
認知度向上

U・Iターン就
職の促進

SNSでの情報
拡散効果

若者が地域
の発信者

鹿児島で働く
ことの魅力発
見

地域ブランド
の向上

企業と若者
の距離縮小

行政や地域
との協働意
識

将来展望

行政

- 鹿児島県の魅力を多くの人に伝え、地域のブランド力強化につながる
- 人口流出を抑え地域経済の活性化を図る

企業

- 認知度向上による多様な人材確保
- 地域社会との結びつきの強化

若者

- 選択肢が広がり鹿児島での就職につながる
- 地域の一員として貢献する意識が芽生える

参考文献

- ・鹿児島県.「かごしま未来創造ビジョン」

https://www.pref.kagoshima.jp/ac01/kensei/keikaku/vision/documents/new_vision.html

- ・RESAS(地域経済分析システム)

<https://www.resas.go.jp/population-society/?pref=13&city=13101&tab=2&year=2023&level=pref&data=0&cityType=0&category=0&gender=0&age=0&lat=39.09761002450933&lng=141.17801170195034&zoom=6>

- ・鹿児島県.若年層等の県内定着に関する意識調査結果

<https://www.pref.kagoshima.jp/af01/jinzai/ishikityousa.html#:~:text=%E3%81%8B%20%E3%81%94%E3%81%97%E3%81%BE%E6%95%85%E9%83%B7%E4%BA%BA%E8%B2%A1%E7%A2%BA>